

介護福祉士 実務者養成研修（通信課程）学則

第1条（事業者の名称・所在地）

本研修は、次の事業者（以下、当社という。）が実施する。

セントスタッフ株式会社

東京都中央区日本橋茅場町 1-8-3 JP 茅場町ビル 2 階

第2条（設置目的）

社会福祉士及び介護福祉士法に基づき、介護福祉士国家試験の受験資格を得る研修を通じて、介護福祉に関する専門的知識及び技術を修得することで、高齢者化社会における医療・福祉の担い手として活躍し得る人材を輩出し、地域社会に貢献することを目的とする。

第3条（実施課程及び形式）

1. 前条の目的を達成するために、次の研修事業（以下、研修という。）を実施する。
介護福祉士実務者養成研修（通信課程）
2. 研修は通信形式を主体とし、一部スクーリングを含むものとする。

第4条（研修事業の名称）

実務者養成研修事業の名称は次の通りとする。

セントカレッジ 介護福祉士実務者養成研修（通信課程）

第5条（通信養成を行う地域）

通信養成を行う地域は全国とする。

第6条（スクーリング会場）

別紙 2 参照

第7条（研修期間）

研修期間は原則 6 ヶ月間とする。

なお、6 ヶ月間で全科目を受講できなかった場合は、在籍期間を受講開始から最長 2 年まで延長して学習することができる。

※下記の有資格者についての受講期間短縮適用については下記受講期間とする。

介護職員初任者研修修了者 2 ヶ月以上

訪問介護員研修 2 級課程修了者 2 ヶ月以上

訪問介護員研修 1 級課程修了者 2 ヶ月以上

介護職員基礎研修修了者 1 ヶ月以上

第8条（定員、学級数）

別紙 3 参照

第9条（養成課程）

本研修の養成課程は別紙1のとおりとする。

第10条（学年、学期、休業日）

学年、学期は特に定めのないものとする。

第11条（休業日）

休業日は、次の通りとする。

1. スクーリング日以外の土曜日、日曜日、祝日
2. 夏季休業（8月13日～8月15日）
3. 年末年始休業

第12条（入学時期）

入学の時期は随時とする。

（開講期間）

無資格者クラス

1月1日～6月30日

1月15日～7月14日

2月1日～7月31日

2月15日～8月14日

3月1日～8月31日

3月15日～9月14日

4月1日～9月30日

4月15日～10月14日

5月1日～10月31日

5月15日～11月14日

6月1日～11月30日

6月15日～12月14日

7月1日～12月31日

7月15日～1月14日

8月1日～1月31日

8月15日～2月14日

9月1日～2月28日

9月15日～3月31日

10月1日～3月31日

10月15日～4月14日

11月1日～4月30日

11月15日～5月14日

12月1日～5月31日

12月15日～6月14日

有資格者クラス

3月1日～6月30日

3月15日～7月14日

4月1日～7月31日

4月15日～8月14日

5月1日～8月31日

5月15日～9月14日

6月1日～9月30日

6月15日～10月14日

7月1日～10月31日

7月15日～11月14日

8月1日～11月30日

8月15日～12月14日

9月1日～12月31日

9月15日～1月14日

10月1日～1月31日

10月15日～2月14日

11月1日～2月28日

11月15日～3月14日

12月1日～3月31日

12月15日～4月14日

1月1日～4月30日

1月15日～5月14日

2月1日～5月31日

2月15日～6月14日

第 13 条 (受講対象者)

受講の対象は次の条件を満たす者とする。

1. 介護福祉士の資格取得を目指している者。
2. 心身ともに健全である者。
3. 高等学校卒業もしくは同等以上の学力があると認められる者。

第 14 条 (受講料)

受講料は次のとおりとする。

受講対象者の資格	時間数	受講料
無資格	450 時間	187,000 円
介護に関する入門的研修	430 時間	187,000 円
ホームヘルパー3 級	420 時間	176,000 円
生活援助従事者研修	410 時間	176,000 円
ホームヘルパー2 級	320 時間	137,500 円
介護職員初任者研修	320 時間	137,500 円
ホームヘルパー1 級	95 時間	60,500 円
介護職員基礎研修	50 時間	33,000 円
認知症介護実践者研修	420 時間	176,000 円
喀痰吸引等研修	400 時間	165,000 円
※テキスト代込、消費税込		

第 15 条 (入学手続)

当社指定の申込用紙に必要事項を記載し、その他の必要書類を添付して期日までに提出する。

第 16 条 (選考方法)

本講座の選考方法は書類選考とし、受講予定者を決定後、本人に通知する。

第 17 条 (履修方法)

本研修は通信課程とし、通信科目の履修方法は下記のとおりとする。

1. 学習方法
受講生はテキストに沿って自己学習し、当社の定める期日までに各科目のレポートを提出する。
2. 評価方法
各科目のレポートは 60 点以上を合格とし、60 点未満の場合は再提出とする。
3. 個別指導
通信課程の学習に際しての質問等は、E-mail および FAX にて受付、担当講師が個別に回答する。

第 18 条 (研修修了の認定方法、修了証明書の交付)

修了の認定は以下の通りとする。

1. 受講料を全額納付し、第 9 条に定めるカリキュラムの全課程を履修し、通信での課題は提出期限を厳守していること。
2. 全課程を修了した時点で、同条 1 の評価と受講態度を総合的に評価し、100 点満点中、A 評価

(90点以上)・B評価(80～89点)・C評価(70～79点)・D評価(70点未満)の4段階で評価する。認定は、C以上で評価基準を満たしたものとす。ただし、D判定の者については再提出とし、合格するまで再提出を行う。

3. 介護課程Ⅲは、全てを受講し、原則として、遅刻・欠席は認めない。

科目の最終日に評価を行ない、100点満点中70点以上を合格とする。不合格者は、1時間の補習、再評価を受ける。ただし、それでも合格できなかった場合は未修了扱いとする。

4. 医療的ケア演習は、全てを受講し、喀痰吸引3行為、経管栄養2行為に対しそれぞれ5回評価を行い、5回目以降を成功することで合格とする。救急蘇生法は1回実施し合格とする。
5. すべての科目の修了を認定された者には、修了証明書を交付する。

修了証明書(修了見込証明書を含む)の紛失等があった場合は、修了者の申し出により再発行を行う。再発行については、手数料として1,000円(税別)を受講者の負担とし、指定する口座に振込むことで再発行を行う。

第19条(遅刻、早退、欠席、補講)

1. 10分未満の遅刻・早退については、当校がやむを得ない理由と判断した場合に限り、出席扱いとする。
2. 10分以上の遅刻・早退及び欠席については、補講にて対応する。
3. 補講はセントカレッジの開講している他コースへの振替は無料とする。
個別に開催する場合は、1時間あたり3,000円を補講実施日の2営業日前までに指定の口座に振込むことで実施する。

第20条(教職員の組織)

研修を実施するにあたり、次の教職員を置く。

1. 校長 1名
2. 教員 2名以上(内、専任教員1名以上)
3. 事務職員 1名以上

第21条(休学、復学)

1. 学生が休学する場合は、所定の休学届を提出するものとする。尚、休学の期間は、在籍年限を越えない範囲とする。
2. 学生が復学する場合は、所定の復学届を提出するものとする。尚、復学時に編入が可能な他コースに復学するものとする。

第22条(賞罰)

次に該当する者は、受講を取消し若しくは除籍とすることができる。

1. 学習意欲が著しく欠け、修了の見込みが無いと認められる者
2. 研修の秩序を乱し、その他受講者としての本分に反した者
3. 受講者自ら受講継続の意思の無いことを申し出た者
4. 第7条に定める在籍年限を過ぎた者
5. その他、当社が不相当とみなした者

ただし1.2.に関しては、双方（受講者と当社）の意思を確認の上決定する。

受講を取り消されるに至った者は、その間履修した当該研修については、
すべて無効となる。

受講料の返金は原則行わない。

附則

1 この学則は、2016年1月11日から施行します。

2 この学則は予告なく改廃する場合があります。その場合は当校ホームページ上に掲載するものとします。

最終変更日 2023年6月13日

養成課程と履修免除について

○ 実務者研修については、訪問介護員研修、介護職員基礎研修等のほか、地域の団体等で実施されている研修（「地域研修」という。）であって、一定の内容・質、時間数が担保されているものを修了した場合には、科目単位での履修認定を認めることが可能。

履修免除の対象となる地域研修の要件

- ① 履修認定の対象となる内容の時間数は、履修認定科目の時間数以上であること。
- ② 実務者研修カリキュラムにおける「教育に含むべき事項」が含まれていること。
- ③ 到達目標に到達していることを評価すること。

教育内容	時間数	介護職員 初任者 研修	生活 援助 従事者 研修	介護に 関する 入門的 研修	訪問介護員 研修			介護 職員 基礎 研修	その他 全国研修
					1 級	2 級	3 級		
人間の尊厳と自立	5	○	○		○	○	○	○	
社会の理解Ⅰ	5	○	○		○	○	○	○	
社会の理解Ⅱ	30				○			○	
介護の基本Ⅰ	10	○	○		○	○		○	
介護の基本Ⅱ	20				○	○		○	
コミュニケーション技術	20				○			○	
生活支援技術Ⅰ	20	○			○	○	○	○	
生活支援技術Ⅱ	30	○			○	○		○	
介護過程Ⅰ	20	○			○	○		○	
介護過程Ⅱ	25				○			○	
介護過程Ⅲ	46							○	
発達と老化の理解Ⅰ	10				○			○	
発達と老化の理解Ⅱ	20				○			○	
認知症の理解Ⅰ	10	○	○	○	○			○	認知症 実践者研修
認知症の理解Ⅱ	20				○			○	認知症 実践者研修
障害の理解Ⅰ	10	○	○	○	○			○	
障害の理解Ⅱ	20				○			○	
こころとからだのしくみⅠ	20	○			○	○		○	
こころとからだのしくみⅡ	60				○			○	
医療的ケア	50 (※)								喀痰吸引等 研修
実務者研修 受講時間数	451	320	410	430	95	320	420	50	

※ 「医療的ケア」には 50 時間とは別に演習を修了する必要があります。

※ ○がついている科目に関して免除となる。

※ 介護過程Ⅲ（46 時間）はスクールアワーを適用する。